

人ヲ愛シ 國ヲ愛シ 任務ヲ愛ス

三愛

目 次

卷 頭 言	市 村 清
三社創立十周年	編 集 部
民族再興の課題	西 村 虎 一
白熱火の如き自信を持て	古 賀 文 雄
日本橋店の開店から今日まで	呼 子 重 義
川 柳 小 景	麻 布 順 介
偶 感	柴 田 盛 二
三愛の評判娘	一 銀 座 マ ン
非 雙 眼	澁 谷 千 太 郎
市村社長に贈る	志 田 正 雄
三愛文藝◇編集後記	編 集 部

No. 3

理研光學・東洋特專・旭無線

三社創立十周年記念式

三社創立十周年記念式典は五月二十五日（日曜）午前十時から青葉かほる豊島園の第五トラックで舉行された。市村會長夫妻をはじめ河合光學取締役、三愛會役員、在京各社各工場及び川越工場の従業員一同、それに名古屋、京都、大阪、福岡、佐賀の各支店や工場の代表者。更らにそれらの家族を併せて總計約一千五百名が參列。市村會長壇上に立つて

三社が創立滿十周年を迎へて、こゝにその記念式典を舉行することは誠に欣快に堪へない。十年の齡を重ねたことによつて三社は何れも社礎益々強固に、信用愈々高まりつゝある。更らに誕生間もなき三愛商事は驚異的發展を遂げつゝあるが、これまた三社の嚴乎たる存在に負ふ所大なるものがある。十年の足跡は必ずしも安易なものでなく、その裏には本日表彰される諸君の並々な功績を見逃すことは出来ない。こゝに衷心より謝意を表するものである。

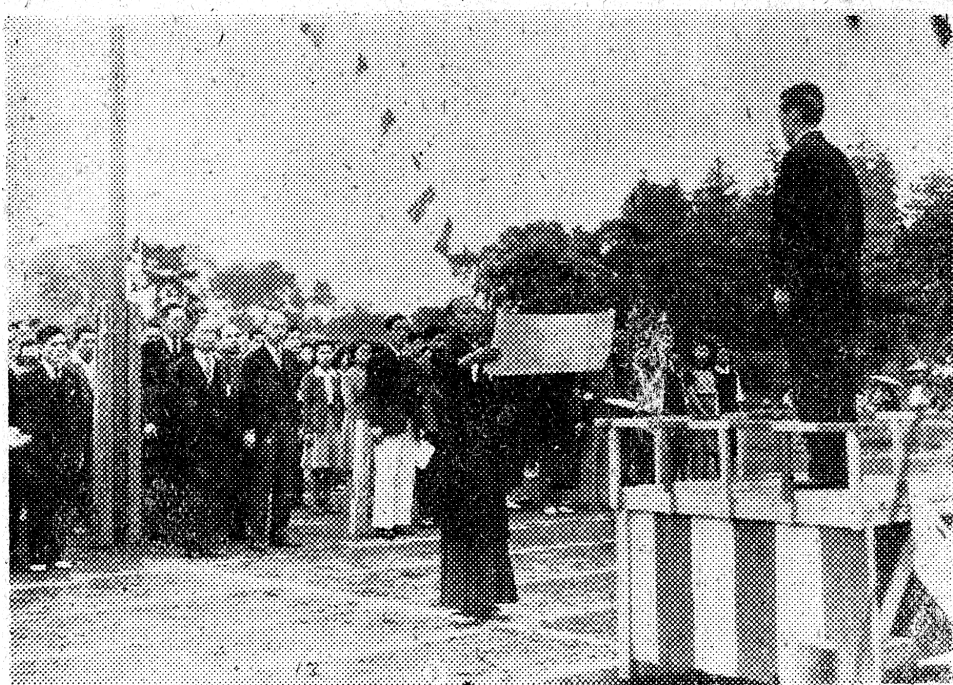
との挨拶があり、永年勤続者百二十八名（滿十年三十九名。五年以上八十九名）に表彰状と記念品（時計）を授與。勤続者代表理研光學福田廣藏君の謝辭があつた。引續き記念運動

會に移る豫定であつたが、式の終る頃から豊島の森もとどろの風雨となり、運動會は延期された。滿十年勤続者は市村會長を加へて左の三十九氏である。（敬稱略）

（光學本社）河合勇、熊谷直正、江口貞平、吉田英夫、武内義夫、小池正雄、長谷川義夫（光學王子）島畑幸平、福田廣藏、西川新吉、住吉幸三郎、小林作次郎、奥山重三（光學大阪）千葉良樹、河合敬輔、榎澤（光學名古屋）永野駒夫、稻垣正一、堀武三、八重樫次郎、高橋斌（光學福岡）安部泰、石井嘉良、矢ヶ部正俊、小川久（特專佐賀）菅野勝廣、市村勝市（特專本社）佐藤多治郎、山口一雄（特專川越）西村秋治、池内俊雄（旭無線）田原昌綱、小淵午吉、宮兼吉（商事本社）田尻光治、中村仁一（商事日本橋）中島衆治（商事京都）岡靜麿

記念大運動會

雨で延期された記念大運動會は六月一日（日）午前十時から綠濃き豊島園第三トラックで開かれた。市村會長夫妻を始め記念式と同様約一千五百名參加。會長挨拶。村上競技委員長の競技上の注意があつて競技を開始。綱引から女子四百米リレー決勝まで三十二種目を拍手と爆笑の裡に和やかに終了した。中にも市村會長の嫁取り競争、西村副會長の親子競走、村上參與の樽廻しなどは満場の喝采鳴りも止まず。最後に各社競演の假裝行列はそれ／＼苦心の奇想を凝らしヤンヤの大喝采であつた。村上競技委員長の成績發表、會長の閉會の辭があつて、男子優勝三愛本社、女子優勝三愛銀座店に會長から賞状が授與され、西村副會長の發聲で三愛會萬歳を三唱して午後四時散會した。



(上) 表彰者代表の謝辭、壇上は市村會長

(下) 青葉の風も朗かに各社競演の假裝行列

